

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	28年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 海域企画担当課長	
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト				
事務事業名	しゅんせつ土砂処分場の確保	継続	拡大	維持	連絡先	052-654-7969	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港で発生するしゅんせつ土砂			事業期間	平成18年度～継続	
	意図(どうい う状態にしたいか)	国土交通省中部地方整備局が行うしゅんせつ土砂処分場計画の策定に協力し、長期かつ安定的な処分場の確保を図ります。					
概要	名古屋港で継続的に発生するしゅんせつ土砂について、国土交通省中部地方整備局が行うしゅんせつ土砂処分場の確保に向けた調査やしゅんせつ土砂処分場計画の策定に協力していきます。					根拠法令等	
29年度の実施予定	しゅんせつ土砂処分場確保のため、漁業影響調査については、平成29年度に調査結果の取りまとめが行われます。また、環境影響評価法に基づく手続きについては、平成29年3月から開始された方法書の手続きが、同年8月に完了します。引き続き土砂処分場の確保が早期に行われるよう、国等と協力し、関係者調整を行っていきます。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
						関連シート	

2 DO(実施)

29年度に実施した内容・結果	国による漁業影響調査が取りまとめられ、環境影響評価法に基づく方法書の手続きが8月に完了しました。引き続き、国が進める環境影響評価準備書の作成に向け、関係機関と協力して調整を行いました。					
コスト		27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	3,122	3,136	3,217	3,158	
合計	千円	3,122	3,136	3,217	3,158	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
しゅんせつ土砂処分場計画の策定までの状況(全4工程)	目標	2	2	3	4(累計)		しゅんせつ土砂処分場計画策定までの完了した工程数 ①事前準備 ②漁業影響調査 ③計画策定に向けた調査 ④計画策定	
	実績	1	1	2				
(進行管理型)	事業進捗状況(29年度)			順調・ <u>やや遅れ</u> ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(29年度)							
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	しゅんせつ土砂処分場確保のため、漁業影響調査については、平成29年度に国において調査結果が取りまとめられました。また、平成29年8月には、環境影響評価法に基づく方法書の手続きが完了しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	しゅんせつ土砂処分場確保については、安全かつ効率的な名古屋港の開発整備の観点から、本組合が積極的に関与すべき重要な事務事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	現処分場の処理能力を考慮すると、早期に処分場を確保する必要があります。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△	国は漁業影響調査を取りまとめ、処分場確保に向けて関係者調整を進めています。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	処分場確保には様々な調整が必要なため、今後も本組合をはじめとする関係者が協力して取り組んでいきます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	拡大	拡大	しゅんせつ土砂処分場確保に向けて、国等と協力しつつ、関係者と鋭意調整を図っていく必要があるため。 【重点化】
	課題	30年度以降の取組		
しゅんせつ土砂処分場確保には様々な調整が必要なため、引き続き、国等と協力して取り組む必要があります。				しゅんせつ土砂処分場確保に向け、引き続き、環境影響評価準備書の作成等に協力するとともに、国等と連携して関係者の理解を得ていくなど、必要な調整や手続き等を行っていきます。